

道志村役場新庁舎電話設備工事

仕様書

令和5年9月

道志村

目 次

I 仕様書概要説明

1. 導入目的
2. 工事場所
3. 工事期間
4. 工事概要
5. 技術的要件の概要
6. 履行条件及び保守管理
7. その他

II 調達物品に備えるべき技術要件

1. 電話交換機仕様及び収容台数
2. 交換機基本機能
3. 機器仕様
4. 保守メニュー

I 仕様書概要説明

1. 導入目的

既存のビジネスフォンの電話機増設物品調達不可、及び補修用物品の保有期限終了に伴い、故障時 原状回復が困難になる場合がある為、新たな電話交備の導入を行い、効率的な通信システムを構築する。

2. 工事場所

山梨県南都留郡道志村 6181 番地 1
道志村役場

3. 工事期間

契約締結日の翌日～令和6年3月20日

4. 工事概要

(1) 導入計画物品及び数量

フレッツ光ネクスト (ハイスピード)	(別途工事)
ひかり電話オフィスA 8ch8番号	(別途工事)
INS ネット64 1回線	(別途工事)
加入電話回線 5回線	(別途工事)
電話交換機 (ビジネスフォン)	一式
(内訳)	
1) 主装置	一式 (7年間保証付)
2) 標準多機能電話機	35台
3) アナログ回線対応多機能電話機	5台
4) デジタルコードレス電話機	8台
5) デジタルコードレス接続装置 (同時3通話対応)	6台
6) 音声メール対応 (8ch200時間)	1台
7) 自動応答装置 (3回線対応)	1台

以上、搬入、据付、配線、総合調整試験及び既設機器の撤去費用、ビジネスフォン主装置の7年間保守費用を含む。

5. 技術的要件の概要

- (1) 本調達物品に係わる性能、機能及び技術等（以下「性能等」という。）の要求要件（以下「技術的要件」という。）は「Ⅱ. 調達物品に備えるべき技術的要求要件」に示すとおりである。
- (2) 技術的要件はすべて必須の要求要件である。

6. 履行条件及び保守管理

- (1) 機器の据付及び配線工事は、図面及び仕様書に基づき行うものとする。
- (2) 交流電源は、既設電源を利用する。
- (3) 既設電話交換機との切り替え及び撤去については、その日程、手順を担当職員と十分協議し行うこと。
- (4) 既設交換機に接続している端末機器は、業務に支障をきたさないように速やかに切り替えること。
- (5) 受注者は、工事完成後、当校職員に対して運用・保全に関する教育を行うこと。

7. その他

- (1) 本調達には、搬入、据付、配線、総合調整試験並びに既設機器の撤去に要する全ての費用を含む。
- (2) フレッツ光ネクスト（ハイスピード）新設
ひかり電話 オフィスA 8ch 8番号
（工事費用は本工事に含まない）
- (3) 道志村ひかり電話オフィスA利用施設間通話料を無料とする

※以下同等品以上とする

1. 電話交換機仕様及び収容台数

1-1 電話交換機基本仕様

項目	仕様
収容回線	加入電話回線 ひかり電話オフィスA回線
最大局線収容数	24（但し収容回線の組合せ搭載方法により変動）
最大内線収容数	80（但し収容回線の組合せ搭載方法により変動）
電源タップ	サンダーカットタイプ タップ7個用を1個

1-2 電話交換機回線容量

回線名称		実装 (回線)	容量 (回線)	既設 (回線)
内 線	一般内線	6	8	
	多機能内線	40	50	
	デジタルコードレス	8		
局 線	ひかり電話オフィスA	8	8	0
	加入電話回線	5	8	2

※1 実装数とは、対応パッケージ搭載済み数量のことである。

※2 容量数とは、対応ユニット搭載済みで最大収容可能数。

※3 既設数とは、既設配線利用の数量である。

1-3 設置端末数

端末種別	設置 台数	新設台数	流用台数	備 考
多機能電話機	40	40		
デジタルコードレス	8	8		
自動応答装置 (3回線対応)	1	1		

2. 交換機基本機能

2-1 各種回線収容

機能名称	機能・仕様等
デジタル多機能電話機収容	デジタル多機能電話機を内線電話として収容できること。
ひかり電話収容	ひかり電話オフィスAを直接収容できること。
加入電話収容	2芯アナログ局線を収容できること

2-2 外線基本機能

機能名称	機能・仕様等
ダイヤルイン	局線からの着信時、局線から送出されるダイヤルイン番号を受け、直接内線を呼び出せること。また、ダイヤルイン番号と対応する内線は任意に設定することができること
発信者番号通知	ひかり電話による局線発信の際、相手にダイヤルイン

(発信時)	番号を通知することができること
発信者番号表示 (着信時)	通信事業者から送られてくる発信者番号を内線（デジタル多機能電話機）に送出することができること。
発信者番号通知 (発信時)	ひかり電話による局線発信の際、相手に番号を通知することができること

2-3 内線基本機能

機能名称	機能・仕様等
内線相互接続	内線電話機のダイヤル操作により他の内線電話機を呼び出し、接続できること。
局線自動発信接続	内線から特番ダイヤルにより、直接局線発信ができること。
着信音識別	内線からの着信呼、局線からの着信呼、D I L又はD I D着信呼を呼び出し音により区別できること。
内線サービスクラス	内線1台ごとに各種サービスの許容/規制できること。
発信接続規制	内線単位で局線への発信規制ができること。
代理応答	グループ内の着信呼に同一グループ内の他の電話機から応答できる
内線代表	グループ内の内線が話し中の場合同一グループの他の電話機に着信する。

3. 機器仕様

3-1 デジタル多機能電話機

機能名称	機能・仕様等
ディスプレイ表示	漢字、ひらがな、カタカナ、英数字等で必要な情報を表示できること。
可変機能ボタン	24ボタン以上備えること。
電子電話帳	1000件以上登録できること。
発着信履歴	40件以上表示できること。

4. 7年間保守メニュー（構築費用に含む）

(1) 故障受付：24時間365日 7年間

(故障受付、一次切り分け、ヒアリングによる状態確認、修理手配（ネットワーク含む）

修理状況の進捗管理（報告）、修理回復連絡等を実施

(2) オンサイト保守：平日9：00～17：00 7年間

(オンサイト対応時間内の駆け付け修理、お客様への修理状況の進捗報告、修理回復報告、故障原因の解析等を実施)

*上記対応時間外でのオンサイト対応に対しては、有償保守として実施。

(3) 保守対象物品：ビジネスフォン主装置

(無償供給・修理・作業を実施する物品)

機器名	無償保守対象物品	有償（実費）保守対象物品
ビジネスフォン	ビジネスフォン本体に搭載する各種パッケージ	多機能電話機、蓄電池、各種配線 自動応答装置（既設）

※その他物品及び消耗品等については、有償保守対象物品とする